

議 題

1. 活動の再開に向けて

(1) これまでのエコウェブの活動の総括（現況と課題）

- （創立時からの会員をはじめ）会員の高齢化が進む中で、組織力が年々低下傾向。加えてコロナ禍での行動制限による活動休止が追い討ちを掛け、活動基盤の脆弱化が進行。
- また、新規入会者の伸び悩みと（正式の退会手続きを取らぬまま継続して2ヶ年以上年会費を滞納との事由から）資格の取り消しによる退会者が毎年発生しており、会員数の回復の兆しが滞留。
- 同様にフォーラム参加者数もH29年度以降低迷したままで、回復の兆しが滞留。
- 上述の会員数の回復&フォーラム参加者数の回復が滞留している原因は、（児島湖沿岸部の旧干拓地域も含め）市民の皆さんの児島湖や児島湖の水質に関する関心度が、以前と比べて低くなっていることも一因と思料。

(2) 活動再開に向けてのスケジュール（案）

- 今年内のエコウェブ活動の再出発を期し、まずは役員会（理事会）において『これまでの活動の総括と今後の活動の方向性（案）』を提案。
- 役員会（理事会）の了承を得て、再出発に向けた具体の行動に着手し、活動計画の実現に繋げるよう努める。
- 来年5月の「R5年度定期総会」及び、同時開催の「R5年度第1回フォーラム」の開催をもってエコウェブとしての活動の復調を期す。
- 来年にエコウェブは創立二十周年を迎えるが、二十周年記念事業については、上述の定期総会及びフォーラムを成功裡に無事終え、活動の復調が確認された後、具体の検討に着手する。

2. 今後の活動の方向性等（活動の活性化への戦略）の提案

(1) 活動の基調

- 主体的な活動（主体活動）の中で一定の成果が期待できるフォーラムの開催は継続することとするが、それとは別にエコウェブとしての活動目標を掲げて、会員と一緒に考え、目標に向けて具体的な活動を実施できるような組織化を図る。

- 活動の在り方の基本は、人の繋がりを通じて活動の輪を広げ、参加者各自が環境保全に対する意識醸成がなされるよう支援していくこと。
- 活動の実施形態については、従来どおり、主体活動と支援協力活動の二区分とし、主体活動においてはエコウェブ主催を基本とするが、テーマ数・内容や参集対象者等を勘案のうえ、必要に応じて他の関係者（機関）からの協力支援を仰ぐなど、協働化（コラボ）による効率的な情報発信と波及効果の最大化に努める。
 [事例]：岡山県では、「第8期湖沼水質保全計画」において、県民と児島湖のつながりを創出する事業に取り組むこととしており、エコウェブ会員に説明する場を設けるのであれば説明したいとの表明あり。
- 活動の対象は、今までの「身近な水環境の全国一斉調査（主体活動）」を除き、児島湖及びその周辺としていたが、今後は一定の繋がり（水繋がり、人と情報の交流等）を考慮し、上流の児島湖流域まで広げてスポットを当て、新たな活動テーマの発掘に努める。
- 各活動にはPDCAサイクル（計画～実行～評価～改善）を適用するなどし、活動の効率化と以降の活動のステップアップに努める。

（2）活動テーマの設定

- 今までの活動の実績を踏まえつつ、参加者が興味を引きやすい課題を焦点に据えた活動テーマを設定することを心掛ける。
- 加えて（活動対象の範囲拡大を見据えて）、児島湖流域等で環境保全活動に取り組んでいる団体・組織等が抱えている問題や困っている案件などを聴き取りし、新たなテーマの発掘を模索する。（中・長期的な取組）

[留意点]：周辺地域も含め児島湖流域全体が繋がり、共通の課題を抱えていることにも留意の上、環境保全活動に取り組んでいる多くの市民や学生の皆さんに対し、エコウェブの活動の趣旨が、幅広い環境保全活動に合致していることを理解していただくための『見せ方』が求められる。

（3）フォーラムの実施方針

- フォーラムの開催を主体活動とする路線は堅持し、採用するテーマのアプローチ（方向性）としては、
 - ① 児島湖本体に係る、ひとつの課題を深掘りしたテーマ
 （水質・植物・魚介類・野鳥など）
 - ② 児島湖流域全体で市民等が抱える共通課題に着目したテーマ
 （例えば公民館活動に関する参考情報を収集するなど）
 の二者からの選択が考えられる。

- また、身近な情報として、以下のようなテーマが存在する。
 - ① 児島湖周辺に顕在するプラスチックごみ問題対策。
 - ② 希少生物（スイゲンゼニタナゴ、ニホンイシガメ他）の保護活動。
- なお、これまでのフォーラム開催に係る資料整理（情報ストック）は十分とは言えない状況。今後は、フォーラム開催時の説明資料等の保存（エビデンスの保存）を適切に行い、以降のフォーラム等の実施に活かしていく。

（4）情報発信の強化（HP の有効活用他）

- エコウェブをよく知らないとの声も聞かれ、世論から認知されているとは言えない。“PR しないことは存在しないこと” に繋がらないよう留意する。
- 保有グッズを積極的に活用し、自己PR を積極的に行う。また、機会ある毎に関係機関等の HP とリンク設定を行うなど、幅広い・双方向の情報発信に努める。
- 令和 5 年の創立二十周年記念事業に先駆け、PR 用リーフレットの作成を検討。

（5）若年層会員の拡充（持続可能な活動を次世代に継承するため）

- 各世代の目線で見ても、参加し易く興味を引くテーマの設定が望ましく、また、活動の取り組みに合わせてエコウェブ会員の拡大が期待されることが重要。特に、将来を担う若年層の世代、児童やお母さん達、教育機関を対象に活動を展開することは、“持続性のある身近な環境保全活動に繋がる近道” と考える。
- エコウェブ活動に対して理解を示し、活動を下支えしてくれる方達（支持層）が拡大していくよう、恒常的に創意工夫を重ねながら会員確保に取り組んでいく。

[事例①]：岡山県では、今年度、小学生向けの環境学習の講師を学生に勤めて貰ったとのこと。企画段階から参加して貰うことで、児島湖に対する関心を深めることができたとのこと。

[事例②]：岡山県では、人の五感による水質評価やテナガエビの増殖による水質浄化事業など児島湖のイメージアップに向けた施策に取り組んでいる。テナガエビ事業のPR活動として、唐揚げの試食会などを実施しているが、参加者の評判も良く、マスコミにも取り上げてもらっており、手応えを感じているとのこと。

[教育機関へのPR]：市内の小中学校等の校長会の場を利用して、エコウェブの紹介が出来れば、それ以降の学校へのアプローチがスムーズに進み、エコウェブ活動への参画の機会も高まるのではと期待される。

児島湖流域エコウェブ役員名簿（2022年度）（案）

No.	氏名	役職名	所属部署名	摘要
1	沖 陽子	会長	岡山県立大学学長	留任
2	足立 忠司	副会長	岡山大学名誉教授	留任
3	西川 克彦	副会長	元中国四国農政局職員	留任
4	藤原 紘三郎	理事（児島湖代表者）	児島湾淡水漁業協同組合代表理事組合長	留任
5	山本 章造	理事（魚類専門家）	元岡山県水産試験場長	交代
6	南條 節夫	理事（広報関係有識者）	児島湖21県民の会	留任
7	秋山 京子	理事（灘崎学区代表者）	灘崎学区栄養委員会会長	留任
8	廣戸 俊夫	理事（NPO活動有識者）	元NPO農村21ネットワーク代表	留任
9	笹田 直樹	理事（魚類専門家）	(株)ウエスコ技術推進本部技術推進室課長	留任
10	大賀 則男	理事（岡山県代表者）	岡山県農林水産部耕地課長	留任
11	楠奥 浩庸	理事（岡山県代表者）	岡山県環境文化部環境管理課長	交代 (人事異動)
12	原田 昇	理事（岡山市代表者）	岡山市環境局環境部環境保全課長	交代 (人事異動)
13	井上 泰幸	理事（岡山市代表者）	岡山市南区役所農林水産振興課長	留任
14	森宗 浩慈	理事（倉敷市代表者）	倉敷市環境リサイクル局環境政策部環境政策課長	留任
15	井上 智文	理事（玉野市代表者）	玉野市市民生活部環境保全課長	留任
16	田尻 淳	理事（中国四国農政局代表者）	中国四国農政局農村振興部防災課長	留任
17	山形 幸	理事（会計担当）	(株)フジタ岡山総合営業所技術顧問	交代
18	大倉 和幸	理事（事務局長）	日化エンジニアリング(株)中国四国支社副支社長	留任

No.	氏名	役職名	所属部署名	摘要
1	渡辺 雅二	監査人	岡山大学名誉教授、岡山大学特命教授（研究）	留任
2	光嶋 治良	監査人	元中国四国農政局職員、津島土生町内会長	交代

企画委員名簿（2022年度）

氏 名	所 属 等	
沖 陽子	岡山県立大学	
中嶋 佳貴	岡山大学農学部	
宮内 伸弥	岡山理科大学附属高等学校	
笹田 直樹	株式会社ウエスコ	
築地 孝典	藤クリーン株式会社	新規
内藤 元久	岡山市立京山公民館	
野崎 隆一郎	岡山県環境文化部環境管理課	交代
井上 泰幸	岡山市南区役所農林水産振興課	交代
白神 裕之	中国四国農政局 岡山南土地改良建設事業所	新規
山形 幸	株式会社フジタ	新規
大倉 和幸	日化エンジニアリング株式会社	

フォーラム参加人員数の推移

	H27春	H27冬	H28春	H28冬	H29春	H29冬	H30春	H30冬	H31春	H31冬
	岡山大学 附属図書館	岡山市立 藤田公民館	岡山大学 附属図書館	ウエルポート なださき	岡山大学 附属図書館	岡山市立 藤田公民館	岡山大学 附属図書館	ウエルポート なださき	岡山大学 環境理工学部	締切堤防 中央管理所
一般市民	-	-	59	54	44	22	44	28	35	41
大学生	-	-	22	23	17	61	17	15	16	22
高校生	-	-	8	1	2	0	2	2	15	0
小中学生	-	-	2	1	1	0	0	0	0	1
計	100	91	91	79	64	83	63	45	66	64

参加者平均90名

参加者平均64名（一般市民35名、大学生25名、高校生4名）

フォーラム一覧

パート1 「岡山の財産 児島湖を知ろう」

H15.11.29 (土) 13:30~17:00 於: 岡山大学創立 50 周年記念館
「諏訪湖の現状」「児島湖の現状」「グループディスカッション」

パート2 「生き物集まれ 人工干潟に!!」

H16.3.21 (日) 10:40~14:00 於: 児島湾締切堤防中央管理事務所
「人工干潟周りの水の動き」「底泥の性質等」「ビオトープの創生」

パート3 「児島湖の魚の世界をのぞいてみよう!!」

H16.10.30 (土) 13:30~16:00 於: 岡山市立藤田公民館
「田んぼの生きもの調査」「魚から見た児島湖」「釣り人から見た児島湖」

パート4 「児島湖のむかし・いま・これから ~人と生活~」

H17.11.19 (土) 13:30~16:30 於: 岡山大学創立 50 周年記念館
「事業所の取り組み紹介」「三世代アンケート」「パネルディスカッション」

パート5 「児島湖周辺の野鳥を学ぼう」

H18.3.11 (土) 14:30~15:30 於: 岡山大学創立 50 周年記念館
「野鳥の会の活動紹介」「児島湖周辺に見られる野鳥」「野鳥観察」

パート6 「児島湖の水生植物を活かす ヨシ等の効果とその活用」

H18.12.10 (日) 13:30~16:00 於: 中国四国農政局 2F 会議室
「三世代アンケート」「葦原造成と有効利用」「児島湖水系の植物利用」

パート7 「児島湖学習塾 ~知っておきたい“いま”“むかし”~」

H19.3.25 (日) 14:30~16:45 於: 中国四国農政局 2F 会議室
「土砂堆積」「水質浄化」「近代化遺産の現状と保存」「児島湖読本」

パート8 「児島湖の未来を語ろう~水・夢・そして未来~」

H20.1.27 (日) 13:30~16:30 於: 岡山大学創立 50 周年記念館
「児島湖読本から学ぶ~児島湖の過去・現在・未来」「児島湖の未来を語る
—児島湖の長期ビジョン 岡大現代GP 児島湖の未来アンケート結果」
「パネルディスカッション (児島湖を利用した環境教育)」

パート9 「おかやまの財産 生きた児島湖を創ろう」

H20.5.10 (土) 14:10~17:00 於: 岡山大学創立 50 周年記念館
「びわこ豊穰の郷の活動」「グラウンドワーク手法と児島湖流域エコウェブ」
「児島湖 50 年に思う」「児島湖環境保全を推進して」

パート10 「児島湖の素顔に接しよう~豊かな自然のその素顔」

H20.12.13 (土) 10:00~12:30 於: 児島湾締切堤防および護岸広場
「児島湖の野鳥について 野鳥観察」「葦の植生観察と刈取りの体験」

パート11 「児島湖の原点 干拓地を支えた土木遺産を訪ねよう」

H21.5.16 (土) 13:00~16:40 於: 岡山市立藤田公民館 大曲現地
「大曲地域の干拓土木遺産について」「土木遺産現地訪問」

パート12 「次世代の水環境はどうするの」

H21.12.19 (土) 14:00~16:30 於: 岡山国際交流センター
「若い世代から興陽高校、玉島高校、就実大薬学部、〃人文科学部、岡大環境理工学部」フリ
ートーキング グループ討論 総合討論

パート 13 「身近な水環境を調べよう～その啓発と実施の勧め～」

H22.5.15 (土) 13:00～16:30 於:岡山大学環境理工学部講義室

「児島湖の水環境」「植物による水路管理」「身近な水環境の全国一斉調査への参加について」

パート 14 「身近な水環境を調べよう～その結果と将来の方向性を探る～」

H23.1.22 (土) 13:30～16:30 於:岡山大学環境理工学部講義室

「H22 年度全国一斉調査の結果報告」「水路の水管理の一方法 (続)」

「児島湖第 5 期湖沼水質保全計画の進捗状況」フリートーキング他

パート 15 「見なおそう児島湖流域の防災と安全」

H23.5.14 (土) 13:00～16:30 於:岡山大学環境理工学部講義室

「児島湖の役割」「南海地震の想いで」「液状化現象と対策」フリートーキング

パート 16 「熱く語ろう次世代の身近な水環境を!!」

H24.1.21 (土) 14:00～17:00 於:岡山国際交流センター

「里見川の水質調査について」「児島湖の湖底地形調査」「第 6 次児島湖水質改善パブリックコメント」「身近な水環境の全国一斉調査に参加して」

グループディスカッション (全員参加)

パート 17 「児島湖流域エコウェブの活動はいかに」

H24.5.19 (土) 13:30～17:00 於:岡山大学環境理工学部講義室

「印旛野菜いかだの会の活動紹介」「児島湖グリーンガイドの発刊について」

「児島湖干拓地の生活と歴史について」「平成 24 年度身近な水環境の一斉調査のご案内」「児島湖流域エコウェブ創立 10 周年記念事業について」

パート 18 「郷土食ふな飯を食べよう!そして語ろう」

H25.1.13 (日) 10:30～14:30 於:岡山市立興除公民館

「児島湖の魚とフナ類」「児島湖のフナの繁殖の秘密」「児島湖流域ふな飯交流会の取り組みについて」「ふな飯試食会」

パート 19 「学ぼう・遊ぼう そして考えよう 児島湖の姿を!!」

H25.5.19 (日) 10:00～16:30 於:岡山大学 50 周年記念館

「10 年間の歩みを顧みる」ビデオ・DVD 放映 懐かしのフォーラム

調査事例紹介 児島湖思い出話紹介

ワークショップ「児島湖を育てよう そして 守ろう」(キーワード別グループ討論) グループ発表 全体討議 アクションプラン発表

パート 20 「児島湖の自然とその幸を実感しよう」船上体験と水質調査から流域を見なおす

H25.12.7 (土) 9:20～15:30 児島湖 および流域 午後ウエルポート灘崎

「フナ漁見学 児島湖視察」「水質調査及び採水」「ふな飯試食会」「水質分析

COD マップ作り フリートーキング

パート 21 「児島湾干拓地のアーカイブを学ぼう」

H26.5.17 (土) 13:00～16:30 於:岡山大学附属図書館

「児島湾干拓の遺産群」「藤田の昔あれこれ」「江戸時代の絵図に見る新田開発」

パート 22 「児島湖流域の水環境調査を語ろう」

H26.12.7 (日) 9:00～16:00 於:現地および岡山市立藤田公民館

「水質調査」「ふな飯・創作ふな料理試食会」「4 番川から始める水質・環境改善」「農業用水上流部における水環境調査」「灌漑期と非灌漑期における児島湖流域の水質変動」「フリートーキング」「グループ発表」

パート 23 「児島湾干拓地の農業を知ろう～児島湖とのかかわりは」

H27.5.16 (日) 13:30～16:30 於：岡山大学附属図書館

- ・話題提供：干拓地農業の変遷、干拓地農業の今とこれから、千両なす生産の現状、小学生による農業観察とポスター作成、食育について
- ・ワークショップ（8班によるテーマ別のフリートーキング） テーマ：アピール、地産地消
- ・各班代表者による発表と講評

パート 24 「児島湖流域のホテルの飛翔とビオトープの創生」

H27.12.6 (日) 13:00～16:00 於：岡山市立藤田公民館

- ・話題提供：酒津のホテルを親しむ会8年の実践、岡大内水循環施設内にホテルを生息させる試み、“ホテルが乱舞する古里”次世代に、地域の水環境を見つめて～もう一度、ホテルの舞う故郷を～
- ・ワークショップ（8班によるテーマ別のフリートーキング） テーマ：A体制づくり、Bビオトープ水路づくり、C流域ホテルマップづくり
- ・各班代表者による発表と講評

パート 25 「10年後の児島湖を見据えて ～世代を超えて湖沼水質保全計画を考えよう～」

H28.5.21 (土) 13:30～16:30 於：岡山大学附属図書館

- ・話題提供：児島湖及び干拓地の生物多様性について、市民による水質保全活動について、児島湖の現状と湖沼水質保全計画について
- ・ワークショップ（8班によるテーマ別のフリートーキング）
- ・各班代表者による発表と講評

パート 26 「自然の恵みをテーマに児島湖流域の未来を考える ～ばら寿司を食べながら生態系サービスをかんがえよう～」

H28.12.4 (日) 13:30～16:30 於：ウェルポートなださき

- ・話題提供：岡山伝統料理 ばら寿司について、これは使える!! ばら寿司にもおすすめ 児島湖流域の豊かな食材、地産地消による地域活性化、岡山市生物多様性地域戦略について
- ・ワークショップ（8班によるテーマ別のフリートーキング） テーマ：A地産地消の売り込みアピール、B生態系サービスの持続のためには、C生物多様性の普及アイデア
- ・各班代表者による発表と講評

パート 27 「児島湖流域の災害リスクを考えよう！ ～防災と減災に関する予備知識～」

H29.5.20 (土) 13:00～16:30 於：岡山大学附属図書館

- ・話題提供：洪水への備え、農業関係の災害リスクについて、知って伝えて広げよう！防災ってなんだ？
- ・ワークショップ（6班によるテーマ別のフリートーキング） テーマ：A災害前にできることについて、B災害発生時にできることについて、C災害発生後にできることについて
- ・各班代表者による発表と講評

パート 28 「児島湾干拓地における地域のお宝を再発掘しよう！ ～お宝再発掘で干拓地の歴史や温もりを次世代に繋ぐ～」

H29.12.16 (土) 13:30～16:30 於：岡山市立藤田公民館

- ・話題提供：こうじょカルタ作製で興除の魅力再発見、妹尾・箕島共同井戸、灘崎五千年の歴史を振り返る、藤田のお宝を訪ねて
- ・ワークショップ（8班によるテーマ別のフリートーキング） テーマ：A地域のお宝情報の発信について、B地域のお宝の保安全管理について、C地域のお宝の継承について
- ・各班代表者による発表と講評

(参加者数：83名)

パート 29 「児島湾干拓地における水との関わりの今昔を知り、世界の水問題を学ぶ」

H30.5.13 (日) 13:00～16:30 於：岡山大学附属図書館

- ・話題提供：水との関わり干拓地興除・藤田の今昔、世界における水問題～その広がり対策
- ・話題提供者によるトークショー
- ・ワークショップ（話題提供後特にテーマは定めず6班によるフリートーキング）
- ・各班代表者による発表と講評

(参加者数：63名)

パート 30 「児島湖流域の災害リスクを乗り越えよう!!

～平成30年7月豪雨の体験に学ぶ～

H30.12.2 (日) 13:30～16:30 於：ウェルポートなださき

- ・話題提供：豪雨の夜 真備で何が起きたか～浸水5mの衝撃、平成30年7月豪雨における岡山市消防局管内の119番入電状況、迫川地域の防災対策取り組み事例 宮川の防災対策について、災害時における地域貢献への取り組み事例
- ・ワークショップ（話題提供後、6班ごとに「災害における情報のあり方」、「災害時に対し個人としてできること・しておくべきこと」、「普段から災害を知ろう・災害後を伝えよう」、「災害時に何ができるか考えよう」等の独自のテーマを定めフリートーキング）
- ・各班代表者による発表と講評

(参加者数：45名)

パート 31 「次世代の熱い水環境保全活動を聴こう！」

R01.5.11 (土) 13:00～16:00 於：岡山大学環境理工学部棟 1F 第104号講義室

- ・話題提供：牡蠣殻を用いて人工干潟の保全を目指せ/人と自然とのかかわり～トンレサップ湖周辺の調査を通じて～、希少水生生物の保全に向けた生態調査、西川での淡水魚やホタルの保護活動、岡山大学環境理工学部「蛍プロジェクト」の近況報告
- ・パネルディスカッション（1大学、3高等学校による話題提供後、各校1～2の代表者によるパネルディスカッションを行い、当日の参加者との意見交換）

(参加者数：66名)

パート 32 「児島湾締切堤防の耐震化がいよいよ始まる

～事業を知って防災・減災・環境配慮意識を高めよう～

R01.12.7 (土) 13:30～16:30 於：児島湾締切堤防中央管理所

- ・話題提供：児島湾締切堤防の誕生、国営児島湾沿岸農地防災事業の概要について、児島湖畔に暮らす私が感じていること、藤田の迷惑施設から～環境価値創造企業をめざして
- ・話題提供者との意見交換（4名の登壇者による話題提供後、当日の参加者との意見交換）

(参加者数：64名)